

物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大

1 平成 24 年度の受注機会増大に向けた取組

経済局では、24 年度当初、市内中小企業者への発注が原則であることをあらためて局内に周知するとともに、個別の契約同等の審査や、業者選定委員会での審議において、対象事業者の所在区分及び企業規模の確認や、市内中小企業者以外への発注が必要な場合の選定理由書添付といった手続きを徹底することなどにより、市内中小企業者の受注機会の増大に努めてまいりました。

その結果、物品の 24 年度契約実績における市内中小企業者の構成比率は、23 年度と比較して、件数が 6.1 ポイントの増、金額が 1.1 ポイントの増となりました。

一方、委託では、件数が 5.7 ポイントの増、金額が 1.2 ポイントの減となっています。

【委託：金額ポイント減の主な要因】

24 年度新規に実施した調査等の業務において、専門性が高く、入札参加資格を市内中小企業に限定することが困難な業務があり、市外事業者が落札したこと。

2 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

各種発注事務を進める中で、引き続き、対象事業者の所在地や規模の確認、市内中小企業者以外へ発注する場合の理由確認を徹底してまいります。

なお、局内の備品・消耗品の発注事務については、原則として総務課に集約しておりますので、この中で、適正な予算執行及び契約手続きの透明性・競争性確保に留意しつつ、市内中小企業者の受注機会増大に努めてまいります。

市内中小企業者への発注状況（経済局契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）							単独随意契約及び大規模契約の合計			
	市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
平成 24 年度	工事	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0	0	0
	物品	516	89.9	6.1	28,493	90.5	1.1	574	31,481	115	33,124
	委託	110	87.3	5.7	61,260	61.2	▲1.2	126	100,170	80	595,091
	合計	626	89.4	6.0	89,753	68.2	▲9.5	700	131,651	195	628,215

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない単独随意契約及び中小企業者の参入の余地が少なく、入札参加者を市内事業者に限定できない大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたもの。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況（財政局契約部契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）								単独随意契約及び大規模契約の合計		
	市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
平成24年度	工事	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0	0	0
	物品	30	83.3	2.4	30,535	37.9	12.4	36	80,583	8	6,332
	委託	27	96.4	11.8	420,345	96.2	43.8	28	437,008	22	211,229
	合計	57	89.0	6.8	450,880	87.1	38.6	64	517,591	30	217,561

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない単独随意契約及び中小企業者の参入の余地が少なく、入札参加者を市内事業者に限定できない大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたもの。